

エレクトロニクス商社

13年後半の事業戦略

明 光 電 子

明光電子は、「自らが次
代を築く」ことを矜持とす
る組織であり続けている。
(顧客が)必要とする最高
の電子デバイス・半導体を
提供。約30万点以上の電子
デバイスの取り扱いに加え
各種技術サポート、購買代
行、受託製造サービスなど
も手掛ける。

明光電子は、「自らが次
代を築く」ことを矜持とす
る組織であり続けている。
(顧客が)必要とする最高
の電子デバイス・半導体を
提供。約30万点以上の電子
デバイスの取り扱いに加え
各種技術サポート、購買代
行、受託製造サービスなど
も手掛ける。

調達力を強みに実績

充実した技術サポート体制



十川 社長

在、ルネサスエレクトロニクス製デバイス「スマートアナログIC」の提案を強化している。

明光電子では、オリジナルのスマートアナログIC

十川正明社長は「電子の総合サービス業。電子に関するあらゆるサービスを、独自のネットワークで、早く・広く・深く、提供する」とし「専門商社のワークにとらわれては、ビジネスに成長はない。すべてを知れる総合力が大切」と述べ、ネットワークの広さを強調。
高度で複雑になる製品開発、試作から量産に至るまでの多彩な問題・課題が見
られる中、同社は試作から量産まで一貫して成功に導く。「トップメーカーの半導体、電子部品を扱う」の電子デバイス（十川社長）との基本理念
の産業機器市場を中心に多くの実績を積んでいる。
一方で、プログラマブルGAなどの拡販に加え、現
在、ルネサスエレクトロニクス製デバイス「スマートアナログIC」の提案を強化している。
明光電子では、オリジナルのスマートアナログIC
評価ボードも製品化し、提案を実施している。十川社長は「電子の総合サービス業として、付加価値のあるものをターゲットに、移動通信、自然エネルギーといった新規ビジネスへの取り組んでいきたい」と言う。